

令和3年度
首里城公園事業年報
第3号



BUSINESS AN ANYE YEARLY REPORT OF SHURIJO CASTLE PARK
No.3 April 2021—March 2022

表紙写真 在りし日の首里城正殿（2019年2月撮影）

漆の塗り直し完了後から1年以上が経過した正殿の写真。正殿は琉球王国最大の木造建築物で、首里城のなかでも王権を象徴する中心的な建物である。中国や日本の建築様式の影響を受けながら、装飾化した龍柱や正面のハの字型階段など琉球独自の形式を持つ。写真の正殿は、1712年に建立され数度の大修理を経ながら戦前まで存続した建物の再現を目指して1992年に復元された。

裏表紙写真 復興現場の様子（2022年3月撮影）

2019年10月31日未明の火災から復興へ向けて動き始めた首里城公園の様子が窺える写真。2022年には首里城正殿の材木を保管、加工する「木材倉庫・加工場」、実物大の図面を描く「原寸場」が完成予定となっており、2023年には正殿を屋内で修復するための「素屋根」が完成予定となっている。

目 次

I 名称・所在地・営業資料	3
II 沿革	3
III 管理・運営	5
(1) 組織	5
(2) 入場者数	6
(3) 取材等報道一覧	6
(4) 主な管理施設	6
IV 業務報告	7
(1) 普及啓発活動	7
(2) 地域連携事業	14
(3) 展示紹介・その他企画展等	18
(4) 首里城公園友の会事業	25
(5) 誘客促進	29
(6) 行催事	32

I 名称・所在地・営業資料

名称 首里城公園 [沖縄県国営沖縄記念公園内施設 (首里城地区内施設)]

設置者：内閣府 沖縄総合事務局
管理許可者：沖縄県
指定管理者：一般財団法人沖縄美ら島財団

所在地 〒903-0812 沖縄県那覇市首里当蔵町

電話：098-886-2020 FAX：098-886-2022

HP：<https://oki-park.jp/shurijo/>

開場時間

期 間	開 場 時 間	駐車場開放時間
令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	9:00～17:30	8:30～18:00

※〈入場券販売締切 17:00〉

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため有料区域・首里杜館を臨時休館

5月23日～7月11日 / 7月22日～9月30日

※令和4年1月13日～2月20日はまん延防止等重点措置のため利用時間を短縮。

開場時間 9:30～16:00 駐車場開放時間 9:00～16:30

入場料金

	大 人	中 人 (高校生)	小人 (小・中学生)
一般料金	400 円	300 円	160 円
団体料金	320 円	240 円	120 円
年間パスポート	800 円	600 円	320 円

※団体は20名様以上

※モノレール (ゆいレール) のフリー乗車券 (一日券・二日券) をご利用中のお客様は首里城公園券売所窓口にて乗車券の提示により団体料金の適用

※首里城復興祭 (10/30・31・11/3:3日間)、新春の宴 (12/31・1/1～1/3:4日間) の時期、県民6歳以上より70歳未満を対象に「沖縄県民割」(大人400円→320円、中人300円→240円、小人160円→120円)を実施。

II 沿革

昭和59年 沖縄県により「首里城公園基本計画」策定

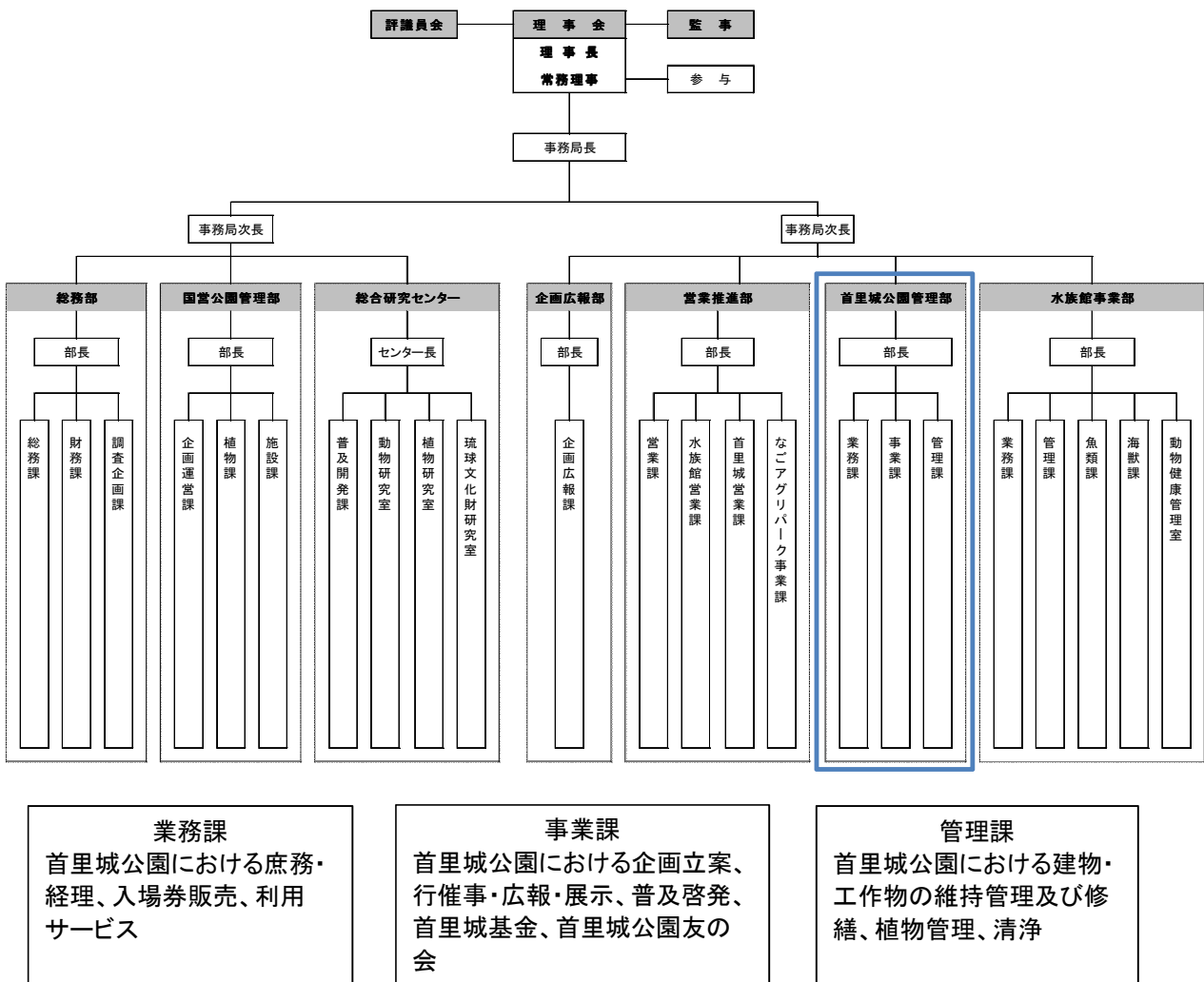
昭和61年 「国営沖縄記念公園首里城地区」として首里城跡地内4haを整備することが閣議決定
沖縄総合事務局により「国営沖縄記念公園首里城地区基本計画」が策定
国営公園の予定地の周辺を県営公園とすることを庁議決定

		首里城公園（17.8ha）が都市計画決定
昭和 62 年		首里城公園内の国営公園部分が都市計画事業承認される 首里城公園内の県営公園部分が都市計画事業認可される。 沖縄県により「首里城公園基本設計」が策定
平成元年		首里城正殿建築工事の起工式及び木曳式を実施 首里城正殿、復元工事に着手。南殿・番所、北殿、奉神門等も復元工事に着手
平成 4 年		首里城正殿建築工事、石積設置工事等が竣工する
平成 4 年	11 月 3 日	首里城公園一部開園
平成 7 年	3 月 15 日	入園者 500 万人達成
平成 9 年	12 月 24 日	入園者 1,000 万人達成
平成 12 年	6 月 2 日	入園者 1,500 万人達成
	7 月 22 日	九州・沖縄サミットの夕食会が首里城で行われる
	12 月 2 日	「琉球王国のグスク及び関連遺産群」に園比屋武御嶽石門、首里城跡が世界遺産として登録
平成 14 年	11 月 1 日	入園者 2,000 万人達成
平成 15 年	10 月 4 日	京の内供用
平成 18 年	10 月 26 日	入園者 3,000 万人達成
平成 19 年	1 月 27 日	書院・鎖之間供用
平成 20 年	8 月 1 日	書院・鎖之間庭園供用
平成 21 年	7 月 23 日	書院・鎖之間庭園、名勝に指定
平成 22 年	4 月 1 日	淑順門供用
	12 月 5 日	入園者 4,000 万人達成
平成 26 年	1 月 24 日	黄金御殿・寄満・近習詰所・奥書院供用
	4 月 1 日	奥書院庭園供用
平成 27 年	4 月 25 日	入園者 5,000 万人達成
平成 28 年	3 月 28 日	銭蔵跡、厩、係員詰所跡供用
平成 29 年	3 月 31 日	北城郭園路広場供用
平成 30 年	12 月 16 日	入園者 6,000 万人達成
平成 31 年	2 月 1 日	国営沖縄記念公園首里城地区全エリア開園 東のアザナ・白銀門・二階御殿供用 世誇殿、女官居室、後之御庭、美福門供用
令和 元年	10 月 31 日	首里城正殿を含む建物 9 棟が焼損
令和 2 年	6 月 12 日	首里城公園正殿遺構等の一般公開
	10 月 31 日	首里城復興展示室、世誇殿大型映像設備、女官居室ミュージアム ショップ球陽がオープン
令和 3 年	10 月 27 日	仮設見学デッキ完成

III 管理・運営

(1) 組織

一般財団法人 沖縄美ら島財団 組織図
 並びに 沖縄美ら島財団 首里城公園管理部 業務課・事業課・管理課 業務分掌



令和4年3月31日現在

(2) 入場者数

月	有料	無料	合計
4	17,750	1,351	19,101
5	12,589	874	13,463
6	0	0	0
7	3,253	236	3,489
8	0	0	0
9	0	0	0

月	有料	無料	合計
10	19,004	2,091	21,095
11	36,336	3,647	39,983
12	40,855	3,642	44,497
1	19,002	1,788	20,790
2	11,286	903	12,189
3	34,112	2,349	36,461
計	194,187	16,881	211,068

5/23～9/30

新型コロナウイルス感染拡大防止のため有料区域臨時休場
(7/12～7/21までは有料区域開場)

(3) 取材等報道一覧

カテゴリー	テレビ (全国)	テレビ (地方)	新聞 (全国)	新聞 (地方)	ラジオ	Web
展示	0	0	0	0	0	0
普及啓発	0	0	0	0	0	12
調査研究	0	3	1	3	0	0
イベント	1	14	3	8	2	1

(4) 主な管理施設

区域		施設名
無料区域	城郭外	首里杜館・守礼門・園比屋武御嶽石門 円覚寺・弁財天堂・龍潭・中城御殿跡
	城郭内	歓会門・久慶門・瑞泉門・漏刻門・広福門 首里森御嶽・系図座用物座・奉神門 右掖門・淑順門・継世門・美福門 銭蔵・木曳門
有料区域 (焼失建造物含む)		正殿・南殿 番所・北殿・書院鎖之間 書院鎖之間庭園・近習詰所・奥書院 黄金御殿・寄満・女官居室・世誇殿 復興展示室

IV 事業報告

(1) 普及啓発活動

郷土歴史文化学習事業

目的

郷土の歴史や文化の普及・啓発を図るため沖縄県内の小・中学生及びその引率教諭を対象に、首里城公園内の有料施設に無料で入館できる郷土歴史文化学習事業を実施している。

来園後にはその学習結果報告として児童・生徒の作文、図画、新聞等を提出していただき、それらを展示し紹介することで首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を行うとともに、県民の首里城公園の利用促進を図り誘客につなげることを目的とする。

概要

令和3年度は小学校38校2,379人、中学校10校946人が郷土歴史文化学習事業の制度を利用し首里城公園へ来園し、琉球及び首里城の歴史文化について学んだ。

	小学校		中学校		その他(学童等)		合計	
	校数	人数	校数	人数	件数	人数	校数・件数	人数
4月	2	226	0	0	0	0	2	226
5月	4	327	0	0	0	0	4	327
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	3	32	0	0	0	0	3	32
11月	11	896	5	621	0	0	16	1,517
12月	12	565	4	317	0	0	16	882
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	2	8	0	0	0	0	2	8
3月	4	325	1	8	0	0	5	333
合計	38	2,379	10	946	0	0	48	3,325



郷土歴史文化学習の様子



学習結果報告書の展示

首里城出張講座

目的

郷土歴史文化学習事業で来園を予定している小・中学校、または依頼のある高校などを対象に、学芸員による首里城に関する出張講座を実施し、郷土の歴史文化の普及・啓発と首里城公園の利用促進を図る。

概要

郷土歴史文化学習事業の事前学習として、琉球王国及び首里城の歴史概説や現在の首里城公園の見どころ、また希望に応じて学校の所在する地域と首里城の関連などの歴史解説を行った。実施日・実施場所・参加人数・派遣職員等については以下の通り。

- ・ 令和3年11月5日（金）（2クラスずつ2回、計4回）
- ・ 那覇市立城北小学校 参加者数：125人（3年生） 教員4人
派遣職員：比嘉 明子（事業課広報企画展示係）

- ・ 令和3年11月24日（水）（1クラスずつ3回）
- ・ 宜野湾市立普天間第二小学校 参加者数：102人（5年生） 教員3人
派遣職員：輝 広志（事業課広報企画展示係）

- ・ 令和3年12月14日（火）
- ・ 那覇市立松川小学校 参加者数：71人（4年生） 教員2人
派遣職員：比嘉 明子（事業課広報企画展示係）



那覇市立城北小学校の実施風景



宜野湾市立普天間第二小学校
の実施風景



那覇市立松川小学校の実施風景

日影台（日時計）解説会

目的

首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を行うとともに、首里城公園の利用促進や誘客を目的として、学芸員による日影台（日時計）の解説会を実施する。

実施日時および場所

《実施日時》

①令和3年12月22日（水・冬至）※雨天のため中止、25日（土）、26日（日）
12：20～13：00、14：20～15：00

②令和4年3月19日（土）、20日（日）、21日（月・春分）
12：20～13：00、14：20～15：00

※6月21日（夏至）、9月23日（秋分）は、緊急事態宣言発令により中止。

《実施場所》 首里城公園内 日影台

概要

琉球王国時代に使用された日影台は、往時、時刻盤の傾斜角度を二十四節季ごとに変えていたが、現在は春分・夏至・秋分・冬至の4回変えている。

令和3年度は、冬至近くの土日と春分の日を含む合計5日間解説会を実施し、総計833人（冬至：288人+春分：545人）が解説会に参加した。

解説会では、外国語3か国語（英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語）を含む解説書と自作できる日影台のワークシートを配布し、日影台の見学を行った。

さらに YouTube の首里城チャンネルにて公開している日影台の動画についても、見学の際に案内した。

【令和3年度 日影台（日時計）解説会 参加者数】

実施日	日程	曜日	12:20～13:00	14:20～15:00	小計	合計
令和3年 （冬至）	12月25日	土	70人	86人	156人	288人
	12月26日	日	62人	70人	132人	
令和4年 （春分）	3月19日	土	86人	81人	167人	545人
	3月20日	日	22人	70人	92人	
	3月21日	月	197人	89人	286人	
総合計						833人

首里城講座

目的

本講座を通じて、首里城に関する歴史・文化を主に県民に向けて普及啓発し、首里城公園の利用促進と満足度向上を目的とする。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和4年1月29日（土）～2月19日（土）

《時間》 毎週土曜日 14:00～15:30

《場所》 首里城公園 首里杜館 情報展示室

概要

今期は昨年度に引き続き、琉球王国文化遺産集積・再興事業に関わった各分野の職人や作家の方を招き、「模造復元製作の世界」と題して琉球王国文化遺産についての魅力を伝え、首里城復興の機運を高めることにもつなげられるようにした。同事業は財団の受託業務であるため沖縄県立博物館・美術館との共催により4回シリーズで行った。

・【第1回】「御供飯の製作について」

講師：高良輝幸（沖縄県認定工芸士）

模造復元「しゅうるしどもえもんちんきん う く ふあん朱漆巴紋沈金御供飯」を製作した高良輝幸氏を講師に迎えて開催した。画像や動画を用いながら、模造復元の製作工程についての詳細な解説や、琉球王国時代に生み出されてきた「手わざ」の素晴らしさと製作を通しての知見が披露された。さらに過年度に財団で取り組んだ徳川美術館所蔵の御供飯の模造復元についても触れた。参加者は熱心にメモを取りながら聴かれ、製作技法の伝来や道具・材料などの質問、講演の感想などが盛んにあり、関心の高さが窺えた。〔参加者数：8名（定員15名、申込者7名）〕

・【第2回】「絵画の表装について」

講師：當間巧（石川堂・表具師）

模造復元「こうしおよ しせいはいざう しきれいもうかきずかん孔子及び四聖配像」「四季翎毛花卉図巻」の表装に携わった當間巧氏を講師に迎えて開催した。画像を用いながら琉球絵画の模造復元の表装工程について詳細な解説が行われた。旧表具の調査知見や専門家との調整に基づく表具の選定、7メートルある「四季翎毛花卉図巻」の表装の工夫や表具の特徴など貴重な話を聞く機会となった。講師の配慮で、表具裂（端材数種）や軸首（木製・陶製など数種）を実際に手にとって見る事ができた。参加者からの質問も多く、関心の高さが窺え、表装技術や技術習得について、琉球王国の表具師の存

在の有無についてなど高度な質問もあった。〔参加者数：10名（定員15名、申込者11名）〕

・【第3回】「しきれいもうかきずかん 絵画『四季翎毛花卉図巻』製作工程見本について」

講師：喜屋武千恵（沖縄県立芸術大学非常勤講師）

「四季翎毛花卉図巻」製作工程見本の製作者である喜屋武千恵氏を講師に迎えて開催した。画像を使用し、7メートルの大作「四季翎毛花卉図巻」中の一場面の4工程（①線を絹に上げたもの、②裏彩色、③表彩色の途中まで、④仕上げ彩色）の見本について、製作の工程や技術の特徴、使用した染料・顔料について分かりやすく解説された。また講師の配慮で、参加者は群青・緑青などの顔料や固着剤、筆などを実際に手にとって見る事ができた。参加者から、顔料の産地や色の出し方、色を調整した絵具は使い切るのか、基底材の画絹について等の質問があり、熱心に聴講する様子と関心の高さが窺えた。

〔参加者数：11名（定員15名、申込者13名）〕 11名

・【第4回】「冠（帟：ハチマチ）資料の模造復元」

講師：金城裕幸（組踊道具・衣裳製作修理技術保存会）

冠（帟：ハチマチ）資料の模造復元に関わった金城裕幸氏を講師に迎えて開催した。現在伝わっているハチマチを染織、木工、紙漉き、竹細工等他分野の専門家・技術者がそれぞれの分野の視点から詳細な調査を行い、複合的に製作を進めていったことが紹介された。身分によって布の色や素材、ハチマチの構造に違いがあることや各パーツの技術力の高さ等について、復元事業を進めていく中で得られた知見があった。参加者からは、ハチマチがどこで作られたものなのか、細かな技術的なことなどの専門的な質問が多かった。また琉球王国文化遺産集積・再興事業への関心、理解を感じられる意見等も聞かれた。

〔参加者数：7名（定員15名、申込者14名）〕

令和3年度 首里城講座 風景



首里城公園有料ガイドツアー

目的

首里城公園の専門職員によるガイドツアーを行い、お客様に琉球王国や首里城の歴史・文化、建造物等について解説紹介を実施する。特に正殿等の再建が着々と進む今だからこそ見られる、感じられる首里城の新たな魅力や再建に向けた状況を紹介し、首里城復興に向けた期待を高め、首里城への理解を深めることを目的とする。

実施日時および場所

《実施日時》

令和3年7月16日（金）～20日（火）、

令和3年10月1日（金）～令和4年3月31日（木）

月～金：8：45～9：45 16：00～17：00

土・日：8：45～9：45 15：30～16：30 16：00～17：00

※7月21日は台風、7月22日～9月30日は緊急事態宣言発令による休園のため、ツアー休止

《実施場所》 首里城公園内 （受付）首里杜館 B1F

御開門見学コース（※朝8：45のみ）

首里杜館→守礼門→木曳門→奉神門（御開門）→正殿基壇遺構→東のアザナ
→世誇殿→奉神門→日影台→大龍柱補修展示室→京の内→西のアザナ

歓会門コース

首里杜館→守礼門→園比屋武御嶽石門→歓会門→龍樋→瑞泉門→漏刻門→
日影台→広福門→大龍柱補修展示室→奉神門→正殿基壇遺構→東のアザナ
→世誇殿

木曳門（バリアフリー）コース

首里杜館→守礼門→園比屋武御嶽石門→木曳門→西のアザナ→京の内→下
之御庭→日影台→広福門→大龍柱補修展示室→奉神門→正殿基壇遺構→復
興展示室→世誇殿

概要

中学生以上は1人1,000円とし、1回の定員を5人（同一グループは10人まで）で行った。

首里杜館で受付を行い、検温及び体調等の申告書の記入後、イヤホンガイド

を装着してもらい、ツアーをスタートした。琉球王国や首里城の歴史や文化についての概要にもふれながら、参加者の様子を確認し安全に回れるように声かけを行い、質問等にも対応した。また、参加特典として特別に大龍柱展示室内を案内し、間近で大龍柱を見学させた。

参加者は、個人での旅行者や家族連れ、グループの参加等さまざまであったが、アンケートの満足度は概ね好評であった。

参加者数

実施月	有料（中学生以上）	無料（小学生以下）	計
7月	8	0	8
10月	122	16	138
11月	160	4	164
12月	133	5	138
1月	88	7	95
2月	85	4	89
3月	149	9	158
合計	745	45	790



ガイドツアーの様子

(2) 地域連携事業

フラワーロード事業

目的

都市公園及び都市公園の周辺地域に対する県民の意識の高揚と利活用の効果を高めるため、住民参加による都市公園等の愛護活動を展開する。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和3年10月10日(日)、10月17日(日)、10月24日(日)

《時間》 9:30～10:30

《場所》 首里城公園内 ハンタン山および龍潭周辺

《連携団体》 首里地域住民の方、近隣の地域団体・企業

(参加者：10/10：33人、10/17：33人、10/24：53人)

概要

10月の沖縄都市緑化月間・都市公園等愛護活動の一環として、龍潭やハンタン山園路周辺の清掃美化作業、プランターへの草花植付け作業を実施した。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、参加者の人数分散を目的に開催日を3回に分けて実施した。今回は地域団体(首里まちづくり研究会、城西小学校区まちづくり協議会、汀良町自治会等)や首里中学の生徒に参加いただいた。

作業開始前に主な作業内容の説明を行い、安全管理、新型コロナウイルス感染症対策、熱中症対策に注意して作業を行うよう参加者に周知した。清掃作業は、園路の落葉清掃や石積み女装、水辺の藻の除去等を実施した。また、プランターの草花植付け作業では、ニチニチソウとマリーゴールド、ジニアの3種類準備した。植付け後には、龍潭通り(県道)にプランターを設置し、フラワーロードとして県道の景観向上を図った。この活動を通して、参加者に都市公園愛護への意識高揚を図ることが出来た。

地域団体(6団体)から17人、首里中学校から17人参加していただき、大規模な清掃を行うことで、安全で憩える環境づくりを行うことが出来た。



令和3年度 フラワーロード事業 風景

首里城への美御水（ヌービー）の奉納

目的

かつて首里城へ献上され、国王の年始清め儀式「お水撫で(ウヰナデー)」などに使われたのが、国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」で汲まれた水である。そして、首里王府の伝統行事として執り行われてきた国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」は、平成10年に120年の時を超え復活した。

本行事は、地元首里の方々と共に琉球文化の心と想いを伝え、来る年の人々の健康と多幸を願い、首里城及び地域の平和と発展推進を祈念し、更に次世代への固有文化継承を目的としている。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和3年12月26日（日）

《時間》 15:00～15:30

《場所》 旧円覚寺総門前

《連携団体》 首里観光案内所 首里トゥンジムイ参道ゆい会
辺戸区お水取り有志の会

概要

首里王府の伝統行事として執り行われてきた国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」と「円覚寺奉納」が行われた。首里城公園内では、旧円覚寺総門前において「奉納の儀」が実施された。昨年に引き続き、簡素化されての実施ではあったが、一般来園者などが撮影する様子も見られ関心の高さが伺えた。



令和3年度 首里城への美御水（ヌービー）の奉納 風景

令和3年度 「春の御城まつり ～首里手作り市～」

目的

昨年度実施し、好評だった「首里手作り市」を継続することで地域団体や教育機関、地元企業との結びつきを強化し、「地域に親しまれる公園」作りを通して首里地域の活性化に寄与することを目的とする。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和4年3月19日（土）～令和4年4月21日（月・祝）3日間

《時間》 8:55～16:00

《場所》 下之御庭、守礼門付近、芝生広場、龍潭周辺

《連携団体》 首里まちづくり研究会 城西小学校 城南小学校 首里中学校
首里高校 県立芸術大学 豊見城市観光協会 沖縄県酒造組合
豊見城龍船協会

《連携企業》 ㈱玉那覇味噌醤油 瑞泉酒造㈱ 瑞穂酒造㈱

概要

地域からの要望を踏まえ「春の御城祭り～首里手作り市～」へと改称し、企画から運営までを地域と一緒にを行うことで、日頃から首里城公園に足を運んでいただけのような「地域に親しまれる公園」作りに取り組んだ。

タイトル	場 所	実施日	参加者数
こども御開門式	奉神門前	3/19～3/21	399人
首里旗頭	下之御庭	3/20～3/21	456人
謎解きクイズラリー	有料区域・無料区域	3/19～3/21	250人
杜のステージ	芝生広場ステージ	3/19～3/21	1,886人
爬龍船ふなこぎ体験	龍潭	3/19～3/21	605人
移動水族館	守礼門付近	3/20	1,290人
油みそ作り体験	首里杜館無料休憩所	3/19～3/21	50人
沖縄の民話読み聞かせ	芝生広場	3/19～3/21	287人
城郭内見学ガイド	有料区域・無料区域	3/19～3/21	35人
首里城周辺と味噌工場見学	首里城周辺	3/19～3/21	21人
漆（沈金技法）体験教室	系図座・用物座	3/21	10人
琉球泡盛の展示	首里杜館ビジュアルロビー	3/19～3/21	550人
泡盛の女王ミニトーク	首里杜館ビジュアルロビー	3/19～3/21	45人

- ・今回の「春の御城まつり ～首里手作り市～」では、地域の方から運営にもっと参加したいとの要望から、多くの地域住民に協力していただき、円滑なイベント運営に取り組むことができた。
- ・昨年に引き続き、感染防止対策として検温・マスク着用・手指消毒等の声掛けを徹底し、安全なイベント運用を心掛けた。
- ・地域からの強い要望があった「龍潭の活用」における新たな取り組みとして爬龍船ふなこぎ体験を実施するにあたり、豊見城市観光協会や豊見城龍船協会と運営から安全対策まで連携して実施することができた。
- ・今後も更なる地域連携を図りながら、地域と共に作り上げるイベントを定番化させ、首里地域全体の活性化及び誘客促進、満足度向上と地域に親しまれる公園づくりに努める。



こども御開門



首里旗頭



杜のステージ



爬龍船ふなこぎ体験



移動水族館



沖縄の民話読み聞かせ



油みそ作り体験



首里周辺と味噌工場見学



泡盛の女王ミニトーク

(3) 展示紹介・その他企画展等

屋外展示・復興展示室・その他企画展等

1. 屋外展示

世界文化遺産に登録され、国指定史跡でもある「首里城跡」。見学用デッキがある場所に広がる地下には「首里城正殿跡」の遺構が存在する。地下に眠る遺構は、平成の首里城復元の際に保護のため埋め戻され、その上に建物を築くための地盤がかさ上げされている。覆屋の中には基壇遺構の公開部分である石積みの一部を見ることができる。



奉神門付近からはじまる見学用デッキ



覆屋

1) 正殿基壇

首里城の最も中心的な建造物が正殿であり、その土台が基壇である。また、遺構とは古い建物の一部として残されたもののことをいう。基壇遺構の存在は、正殿の位置と規模の解明、復元の手がかりとして最も重要なものである。過去に何度も建て替えられていたという興味深い事実が、考古学的発掘調査によって判明している。

正殿の土台にあたる基壇の石積みから、正殿は建替えの度に西側へ拡張されていった事が垣間見られる。発掘調査により正殿基壇が15世紀頃には既に石積みで造られていたことが確認されており、一番古いのが東側にある石積み(第2基壇)である。琉球石灰岩が用いられ、切り石積みとなっている。また、この15世紀の石積みには火災の痕跡が確認された。文献記録によれば、琉球王国時代の正殿火災は3度あったことが知られており、最初の火災が1453年の志魯・布里の乱という王位継承争いによる炎上である。

遺構の中央石積み(第3基壇)を南側から見るとL字型であり、西側の石積み(第4基壇)に接している。よく見ると、L字の短辺にあたる石積みには、御庭に向けて石段状のものが見える。形状から正殿正面の階段は直線階段だったことがわかる。



正殿基壇遺構

2) 龍頭棟飾鉄骨・飾瓦破片

首里城正殿の大棟（おおむね）の南北両端と中央の唐破風（からはふ）の上には、大きな龍の飾瓦があった。戦前の写真では漆喰製だが、17世紀後半では焼物であったことがわかり、平成の復元では焼物が用いられた。しかしながら、大棟の龍頭の長さは約3.3メートルあり、相当の重量になるため、安全性や耐久性を考えた工夫がなされた。龍の頭や鱗などは小さなピースに分割されて焼かれた陶片で、下地にステンレス線や接着剤により一つずつ留められた。さらに、下地に留められた陶片と屋根の棟木（むなぎ）を接いで固定していたのが鉄骨である。この鉄骨はステンレス製だったため火災の影響を受けながらも残った。龍頭棟飾の鉄骨と飾瓦破片（陶片）は、困難な復元作業を職人技で克服した歴史を物語る貴重な残存物である。



首里城正殿跡に展示された龍頭棟飾の瓦破片と赤瓦の残存物

3) 礎石

見学用デッキが特設されている現在の「首里城正殿跡」には、砂地の表面に丸く出っ張った石が複数ある。この石は、礎石という正殿の柱の基礎となる石で、平成の復元時に据えられたもの。材質は沖縄本島中南部で採掘される細粒砂岩で、三階建ての正殿を支えていた。柱跡でもある礎石は間隔を空けて置かれており、正殿の規模（幅約 28.8m／奥行き約 17.0m）を偲ばせ、ひび割れや変色の痕によって火災の凄まじさを伝えている。



平成の首里城復元の際に据えられた礎石

4) 首里城正殿の石高欄

首里城正殿の正面と中央の階段には石で造られた高欄が設置されていた。王宮にしつらえたいわゆる手摺りであり、装飾でもあった。平成の首里城復元では、16世紀初め頃から戦前まで残っていた高欄が復元された。基壇上より突出する高欄を支える持送り石には琉球石灰岩が用いられ、その他は「ニービの骨（ニービヌフニ）」と称される細粒砂岩で造られた。石造りの高欄自体は、中国の宮殿建築にならったものだが、高欄の端にある親柱の逆蓮頭（蓮の花を逆さに伏せた装飾）、また高欄を支える束石の握蓮（蓮の葉のかたちの装飾）など日本の禅宗様の建築様式に似せたデザインが見られる。展示されている石高欄は火災の影響で破損したもので、在りし日の首里城正殿を物語る重要な残存物である。



展示された正殿の石高欄（左）と在りし日の首里城正殿の石高欄（右）

2. 復興展示室

御内原エリアの復興展示室へ足を踏み入ると、火災前まで首里城正殿の屋根から睨みをきかせていた獅子瓦と目が合う。ここでは、獅子瓦をはじめ、首里城正殿を彩っていた小龍柱や獅子、石高欄等の石彫刻の残存物の一部を展示している。ばらばらになってしまった姿は火災の凄まじさを物語っているが、同時に今までは間近で見ることが叶わなかった石彫刻や瓦の細部を見ることができる。

5台設置されたデジタルサイネージでは、それぞれ「首里城正殿：琉球王国の美の結晶」「首里城正殿：瓦と漆塗装」「首里城正殿の美：彫刻・漆工芸」「正殿の火災について」「復興の様子」について、動画を交えて紹介している。平成の復元時に正殿の彫刻を制作しているところや瓦を葺いているところ、龍頭棟飾りを設置している様子等、たくさんの職人や技術者が正殿を造り上げていた姿を目にすることができる。

奉神門の北側に残った瓦を使って、再び葺いた瓦も展示しており、沖縄の青い空に映える赤瓦の色や形を近くで堪能できる。また、来園者の満足度を高めるため過去の展示図録・写真等の書籍やミュージアムグッズもそろえたショップも併設している。



首里城公園御内原エリアの復興展示室と展示風景

3. 企画展ほか

沖縄県の緊急事態宣言発令を受けて、首里城公園全一部区域（首里杜館、有料区域全域を含む）の臨時休館・休場（5/23～7/11、8/1～9/6）があったが、次のとおり企画展を開催した。

【開催】

- ・「塚本文雄（章雄）写真展～1960年首里・沖縄を歩いて～」（会期：7/16～10/21 会場：首里杜館ビジターロビー 主催：沖縄美ら島財団/後援：琉球新報社）
※塚本文雄氏（元広告代理店カメラマン）が1960年に撮影した沖縄の写真パネルを展示した。展示会では、戦後復元された守礼門や、今も首里城外郭沿いに立つアカギの大木などの写真を展示。さらに首里城周辺と同時代の那覇や名護等の人びとの暮らしや風景を合わせてモニターで紹介した。
- ・「在りし日の首里城 写真パネル展」（会期：随時 会場：首里杜館ビジターロビー）
※首里城火災から2年を経て在りし日の首里城を写真パネルで紹介。
- ・「首里城美術工芸品の現状とこれから」展（会期：10/22～12/9 会場：首里杜館ビジターロビー）
※首里城火災から2年を経て収蔵品の修復状況と今後の活動について紹介。
- ・「朝賀の儀式」パネル展（会期：12/28～2/4 会場：首里杜館ビジターロビー）
※イベント「新春の宴」施時に、往時の正月儀式の様子などを紹介した。
- ・首里城公園 新春の宴「朝拝御規式」（映像上映）（会期：1/1～1/3 会場：世誇殿）
※正殿焼失後、実施できなかった正月儀式「朝拝御規式」の様子を、火災以前の映像を基に世誇殿の大型モニターにて上映し、新年の幕開けを華やかに彩る琉球王国のお正月を紹介した。
- ・琉球の華みぐい『花の工芸品』パネル展（会期：2/19～3/18 会場：首里杜館ビジターロビー）
※「琉球の華みぐい」（会期：2/20～3/14）にあわせて園内の植栽のほか植物をデザインした工芸品を写真パネルで展示紹介した。

- ・琉球の華みぐい「首里城の植物たち」(映像上映)(会期：2/19～3/13
会場：世誇殿)
※「沖縄花のカーニバル2022」に併せて花をテーマに首里城公園内に咲く草花を世誇殿の大型モニターにて上映し、園内周遊や再来園の契機づくりを図った。
- ・琉球泡盛パネル展(会期：3/19～3/21 会場：首里杜館ビジターロビー
主催：沖縄美ら島財団/協力：沖縄県酒造組合)
※「沖縄県酒造組合」と連携し、泡盛の製造工程紹介パネルやカラカラなど酒器の展示、関連イベントとして、泡盛の女王によるミニトークを実施し、琉球泡盛文化に関する普及啓発と首里城公園の利用促進を図った。
- ・「郷土歴史文化学習事業結果報告」パネル展(会期：3/22～ 会場：首里杜館ビジターロビー)
※「郷土歴史学習事業」で首里城公園に訪れた児童・生徒たちの学習成果(作文・絵画・手作り新聞など)を展示。

【連携・協力】

- ・まるごと沖縄旅気分♪沖縄フェア(会期：6/9～6/13 会場：イオンレイクタウンmori)
主催：イオンリテール株式会社北関東カンパニー
※まるごと沖縄気分♪沖縄フェアの首里城復興支援企画として、被災した財団所蔵の収蔵品の修復状況等をパネルで展示する「首里城パネル展」への資料貸出を行った。
- ・首里城復興応援ポスター展(会期：10/12～10/31 会場：イーアス沖縄豊崎)
主催：大和ハウス
※イーアス沖縄豊崎にて、首里城の復興を応援するためパネル・ポスター展を開催するにあたり資料貸出を行った。

- ・～首里城復興支援 子供たちの描く首里城・パネル展～（会期：10/20～11/3 会場：イオン具志川店）
主催：イオン琉球株式会社、イオンリテール株式会社
※沖縄と南関東の子供たちが作画した首里城の絵を展示するのに併せて、首里城に関するパネル展示への資料貸出を行った。
- ・首里城復興空港まつり（会期：11/22～12/12 会場：那覇空港旅客ターミナルビル国際線エリア2階「YUINCHI 広場」）
主催：那覇空港ビルディング株式会社
※県民の窓口「那覇空港」から首里城の復興を応援することを目的とした首里城パネル展に資料提供を行った。



塚本文雄（章雄）写真展
展示風景



「朝賀の儀式」パネル展
展示風景



首里城復興応援ポスター展（イーアス沖縄豊崎）
展示風景



首里城復興空港まつり（那覇空港）
展示風景

(4) 首里城公園友の会事業

首里城公園友の会事業報告

首里城公園友の会では、沖縄の歴史や文化の普及に関する講演会、見学会など、専門の講師を招聘し、年間を通して開催している。首里城公園を拠点に沖縄美ら島財団と連携し、首里城公園への来園促進を促し、地域に根ざした普及啓発活動を行った。

1. 首里城見学会

1. 令和3年10月31日(日) 15:00~17:00 参加者: 14人
講師: 平良啓氏((株)国建 常務取締役)
2. 令和3年11月20日(土) 15:00~17:00 参加者: 16人
講師: 高良倉吉氏(琉球大学名誉教授)
3. 令和3年12月11日(土) 15:00~17:00 参加者: 15人
講師: 高良倉吉氏(琉球大学名誉教授)・平良啓氏((株)国建常務取締役)
4. 令和4年3月19日(土) 14:00~16:00 参加者: 12人
講師: 喜納大作氏(首里城研究会会員)
5. 令和4年3月20日(日) 14:00~16:00 参加者: 10人
講師: 平良啓氏((株)国建 常務取締役)
6. 令和4年3月21日(月・祝) 14:00~16時 参加者: 13人
講師: 山城彰子(大学非常勤講師)
※④~⑥は、首里城「春の御城まつり」協力開催

2. 首里城周辺めぐり

1. 令和3年10月30日(土) 15:00~17:00 参加者: 12人
講師: 新里涼子氏((株)国建 まち・しまデザイン部)
※首里城復興祭-瑞泉酒造工場見学会含む
2. 令和4年3月19日(土) 11:00~13:30 参加者: 7人
講師: 新里涼子氏((株)国建 まち・しまデザイン部)
※首里城「春の御城まつり」-玉那覇味噌工場見学会含む
3. 令和4年3月20日(日) 11:00~13:30 参加者: 7人
講師: 上江洲安亨氏((一財)沖縄美ら島財団)
4. 令和4年3月21日(月・祝) 11:00~13:30 参加者: 7人
講師: 鈴木悠氏(那覇市市民文化部文化財課)

3. 那覇めぐり及び地域めぐり

1. 那覇上間（真和志間切り）めぐり
日程：令和4年3月5日（土） 参加者：18人
講師：前田舟子氏（沖縄大学准教授）
2. 牧志・久茂地の史跡・旧跡と那覇市歴史博物館見学
日時：令和4年3月12日（土） 参加者：16人
講師：喜納大作氏（首里城研究会会員）

4. コンパクト講座

1. 古民家「美榮」の建築と琉球料理
日時：令和3年10月23日（日）17:30～20:00 参加者：11人
講師：平良啓氏（(株)国建 常務取締役）
場所：琉球料理「美榮」在/那覇市久茂地
2. 琉球楽器（三線・笛）と琉球料理
日時：令和3年12月5日（日）11:30～14:45 参加者：11人
講師：宇保朝輝氏（(一財)沖縄美ら島財団）
場所：琉球料理「美榮」在/那覇市久茂地
3. 「琉球王国の外交と『歴代宝案』」
日時：令和3年12月19日（日）14:00～15:30 参加者：14人
講師：山田浩世氏（沖縄県教育庁文化財課資料編集班）
場所：首里城公園 首里杜館 情報センター
4. 「琉球人と中国語」
日時：令和4年1月16日（日）14:00～15:30 参加者：16人
講師：金城ひろみ氏（琉球大学准教授）
場所：首里杜館 情報センター
5. 「台湾における琉球史研究」
日時：令和4年2月11日（水・祝）14:00～15:30 参加者：19人
講師：前田舟子（沖縄大学准教授）
場所：首里杜館情報センター

5. 史跡巡見

1. 久高島巡見
日時：令和3年12月12日（日）13:00～16:30 参加者：14人
講師：大城秀子（沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員）
場所：南城市久高島

2. 史跡巡見中部コース～沖縄本島中部の史跡・旧跡を中心に～

日時：令和3年12月26日（日）09:00～18:00

講師：恩河尚氏（沖縄市総務部市史編纂室） 参加者：26人

場所：沖縄本島（うるま市及び沖縄市）

6. 文化講演会「薩摩による琉球支配-武力統制・献上問題の視点から-」

日時：令和4年1月8日（土）14:00～16:00

講師：麻生伸一氏（沖縄県立芸術大学准教授） 参加者：36人

7. イヌマキ育樹祭

1. 令和3年11月13日（土） 参加者：80人

2. 令和4年3月6日（日） 参加者：97人

8. 漆（沈金技法）体験教室

日程：令和4年3月21日（月・祝） 参加者：10人

講師：前田春城氏（漆工芸家）

9. 首里城研究会

1. 第158回 日程：令和3年10月9日（土） 参加者：15人

発表：石積みの地磁気方位による造改築の分析—旧和宇慶家墓の事例
（安里進氏/沖縄県立芸術大学名誉教授）

「沖縄県内出土のマドガイ製品について」（仲座久宜氏/沖縄県教育庁文化財課）

2. 第159回 日程：令和3年12月4日（土） 参加者：16人

発表：①佐敷間切屋比久村よなふり原の竿迦の仕明地関連資料の発見
（安里進氏/沖縄県立芸術大学名誉教授）（金城善氏/元糸満市立図書館長）
（伊集守道氏/那覇市歴史博物館）

②近世琉球辞令書の形式変化について（瀆地龍磨氏）

③瓔珞の制作仕様について（上江洲安亨氏）

3. 第160回 日程：令和4年2月5日（土） 参加者：10人

発表：①明治維新时期における琉球の欧米線対応—明治元年の英国船渡来を事例に—
（大城直也氏/那覇市歴史博物館）

②「宮古島や多良間島の「系図家譜」に転写された跡目相続の「口上覚」に見る相続人の御札歳と琉球における宗門手札改の実施回数」
（金城善氏/元糸満市立図書館長）

4. 第161回 日程：令和4年3月12日（土） 参加者：10人

発表：①「玉陵の殯—琉球における殯の基礎的考察」（牛窪彩絢氏/東京文化財研究所）

②「口上（口上覚）、覚（覚写）の文書的性格について」（瀧地龍磨氏/名桜大学博士後期課程）

10. 「首里城研究」（学術誌）の発行

「首里城研究」 No. 24 発行日：令和4年3月31日（発行部数：400部）

11. 友の会会報の発行

1. 第116号 発行日：令和3年7月31日
2. 第117号 発行日：令和3年11月30日
3. 第118号 発行日：令和4年1月10日
4. 第119号 発行日：令和4年3月31日

12. 運営委員会

1. 第1回 令和3年5月23日（日） 出席者：6人
議題/総会、理事会に向けて
2. 第2回 令和3年6月20日（日） 出席者：7人
議題/理事会、書面総会資料について
3. 第3回 令和3年7月22日（木） 出席者：7人
議題/令和3年度年間事業及び書面総会ハガキまとめについて
4. 第4回 令和3年8月29日（日） 出席者：6人
議題/友の会事業（後期事業案）について
5. 第5回 令和3年10月16日（土） 出席者：7人
議題/友の会事業（後期）について
6. 第6回 令和3年12月19日（日） 出席者：6人
議題/会報118号の発行に向けて
7. 第7回 令和4年2月11日（金・祝） 出席者：6人
議題/イヌマキ育樹祭事業について

13. 会員数（令和4年3月31日現在）

個人会員：813人

法人会員：33社

(5) 誘客促進

首里城復興イベント(沖縄県連携事業)

目的

首里城が復興していく過程において、首里城の魅力、歴史的価値を再確認する機会を創出するとともに、国内外へ向け琉球文化を発信するために、沖縄県と連携し「首里城復興イベント」として園内でのプロジェクションマッピング及びナイトタイムコンテンツを実施する。

概要

プロジェクションマッピング

新型コロナウイルス感染拡大防止策により歓会門、北城郭、広福門、京の内の4か所を無観客で実施し、その模様をYoutubeで配信した。(10月31日オンライン配信)

ナイトタイムコンテンツ

夜の琉球芸能として、下之御庭では琉球舞踊や組踊の披露、北城郭では琉球古典音楽や創作芸能、復興祈念公演としてオペラなどを披露した。首里天ぬ群星(すいていんぬむりぶし)として、木曳門から京の内にかけて復興への想いを光で演出したライトアップ実施した。

また、天の川(ていんがーら)プロジェクトとして、龍潭にLEDライトの球を浮かべ、天の川を創出させる地域参加型イベントを実施した。

夜の琉球芸能の観覧は事前予約制とし、首里天ぬ群星及び天の川プロジェクトは自由に観覧できる形式となった。



首里城 MICE

目的

首里城公園の利活用として MICE を受入実施し、魅力創造、琉球・沖縄の歴史・文化・芸術等を情報発信し誘客促進するとともに、沖縄県の観光振興に寄与する。今後は、首里城公園独自の MICE プランを構築・展開していく。

実施期間

日 時:令和3年 11月10日(水) 16:45~19:45 (参加者 83名)

実施場所:首里城公園内(県営区域、国営区域、有料区域)

主 催:日本臨床脳神経外科学会

概要 ①ウェルカムパーティー 催し物

②案内ガイド

③会場設営等安全管理(感染症対策ガイドライン・シーサーステッカー掲示)

公園の対応として、会場受入れや有料案内ガイドを行い、短い準備期間で運営者と連携を図った。新型コロナウイルス感染症が落ち着きをみせる中、県内施設で初開催となる MICE であったため、県内 MICE 関係者の視察もあった。また、感染症対策として首里城公園が定めた「新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドライン」や「COCOA」「RICCA」のアプリダウンロード用 QR コードを掲示して感染予防を行った。今後は、首里城公園の新たな魅力の創出として、琉球・沖縄の歴史・芸能・食文化について首里城公園独自の MICE プランを構築し、新たな収益事業として展開する。



案内ガイドの様子



会場の様子



琉球舞踊の様子



空手演舞の様子

首里城オンラインツアー

目的

新型コロナウイルス感染症の影響により国内・海外旅行が制限される中、コロナ禍においても自宅等で旅行気分が味わえる新しい旅の形「オンラインツアー」を首里城公園で受け入れることで首里城公園の魅力発信と誘客促進を図るとともに、「after コロナ」における沖縄県への来訪意欲向上、観光振興に寄与することを目的とする。

概要

《期間》令和3年4月～令和4年3月

《場所》首里城公園内(県営区域、国営区域、有料区域)

- ・首里城公園主催によるリアルタイム配信
- ・旅行会社等主催によるリアルタイム配信
- ・事前に撮影した動画による配信
- ・首里城公園の素材を活用した動画及び静止画の配信

《件数》15件 888名参加

令和3年度は、旅行会社主催に加え、首里城公園主催のオンラインツアーを実施することができ、県内の旅行会社だけでなく、県外からの依頼も増えてきた。また、オンラインツアー認知拡大の取組みとして、PR動画の自前制作や大手旅行会社との商品造成、企画会議でのPRの他、修学旅行がキャンセルになった学校を取り扱う旅行会社へのセールスも行った。

今後の取組みとして、幅広い年齢層の参加が期待できる個人向けのオンラインツアーを造成し、首里城の「いま」を配信する。



PR 動画



配信現場の様子

(6)行催事

首里城復興祭

目的

首里城火災の節目となる時期に、国や県、地域との連携により各種催事等を展開することで、沖縄の歴史文化の発展、観光振興に加えて、県民の方々へ首里城復興に想いを馳せる機会の創出、更なる復興への気運を高め、地域の発展に寄与することを目的とする。

開催期間および場所

《期間》 令和3年10月30日（土）～11月3日（水・祝）

《場所》 首里城公園及び首里城公園周辺

《連携団体》 那覇市、首里振興会、沖縄県、沖縄県酒造組合、地域団体等

概要

今年度より「首里城祭」を「首里城復興祭」へと改称し、首里城公園を中心に地域団体と連携しながら各種催事を展開した。首里城復興の機運をさらに高めるとともに、地域の活性化を図ったイベントを開催した。

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、琉球王朝まつり首里古式行列を無観客（後日 Youtube 配信）での開催とし、来園者の密集を回避した。
- ・検温やアルコール消毒、マスク着用の呼びかけ、ソーシャルディスタンスの確保等、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施しながら来園者に観覧いただけるよう、財団スタッフで連携して取り組んだ。
- ・ステージイベントの出演者についても密にならないように、控室として情報展示室、ビジターロビー、城西小学校体育館などを利用し、感染症対策を行った。



国王・王妃出御



古式行列(無観客開催)

首里城祭イベント

イベント名	場所	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3	合計 観覧者数
国王・王妃出御	世誇殿前	612人	1,005人	—	—	1,626人	3,243人
伝統芸能公演	首里杜館 芝生広場ステージ	155人	596人	—	—	484人	1,235人
国王・王妃御轎乗 車体験	下之御庭	450人	714人	332人	318人	864人	2,678人
古式行列	奉神門～守礼門	11月3日(水・祝)無観客開催(後日Youtube配信)					

首里城祭関連イベント

イベント名	場所	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3	合計 観覧者数
首里城5Gオンラ イン教室	首里杜館芝生広場	23人	35人	—	—	30人	88人
龍潭ハス乗り体 験	龍潭	—	—	—	—	体験者 300人 観覧者 1,002人	体験者 300人 観覧者 1,002人
ペーパークラフ ト体験	首里杜館芝生広場	86人	158人	31人	7人	382人	664人
正殿ぬりえ体験	首里杜館芝生広場	50人	82人	24人	18人	284人	458人
首里城周辺巡り	首里城周辺	12人	—	—	—	—	12人
首里城見学会	有料区域内	—	14人	—	—	—	14人
こども御開門	下之御庭	62人	147人	—	—	106人	315人
首里城復興祈念 ステージ	首里杜館芝生広場	330人	461人	—	—	1,300人	2,091人
首里城美術工芸 品展	首里杜館ビジター ロビー	—	—	—	—	—	—
琉球泡盛の粋 in 銭蔵	銭蔵跡	—	—	101人	116人	401人	618人

首里城公園 ゴールデンウィーク体験イベント

目的

ゴールデンウィーク期間中に、「親子で楽しめる」を目的に、体験要素と学習要素の高いプログラムを提供し、琉球王国が育んだ歴史文化の魅力を多くの子供たちに伝える。

開催期間および場所

《期間》 令和3年5月2日（日）～ 5月5日（水）

《場所》 日影台、世誇殿、首里杜館

概要

体験要素の高い「漆喰絵付け体験」「オリジナルちょうちんづくり」「ペーパークラフト体験」、なごアグリパークと連携した「やんばる野菜市」を実施した。

プログラム

プログラム名	5/2	5/3	5/4	5/5	合計
漆喰絵付け体験	21人	14人	—	—	35人
オリジナルちょうちんづくり体験	—	—	14人	2人	16人
なりきりペーパークラフト体験	23人	21人	60人	16人	120人

- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防対策として、各体験イベント会場ではソーシャルディスタンスを確保した席を設け、注意看板等を掲示した。また、スタッフ及び参加者にはマスク着用や手指消毒を徹底し実施した。



漆喰絵付け体験



オリジナルちょうちんづくり体験



なりきりペーパークラフト体験



やんばる野菜市

首里城公園 新春の宴

目的

琉球舞踊や古典音楽により首里城らしいお正月の雰囲気由来園者に感じていただき、また地域共同による行催事を実施することで、沖縄観光及び首里地域の活性化に寄与することを目的とする。

実施期間および場所

《期間》 令和4年1月1日（土）～1月3日（月）

《場所》 首里城公園

《連携団体》 沖縄県立芸術大学、首里振興会、
(一社)琉球伝統芸能デザイン研究室

概要

「御座楽演奏」や「琉球芸能の宴」では厳かな雰囲気を演出し、「こども御開門」や「首里旗頭」は地域の小学校や青年会と連携し取り組んだ。

また、「国王・王妃出御」は出御に併せて、正月儀式「朝拝御規式」の子之方御拝の一部を紹介するとともに、世誇殿大型モニターにて儀式の様子を上映した。

プログラム	場所	1/1	1/2	1/3	合計
国王・王妃出御	世誇殿前	1,381人	652人	1,103人	3,136人
御座楽演奏	系図座・用物座	581人	591人	584人	1,756人
琉球芸能の宴	系図座・用物座	1,084人	817人	1,059人	2,960人
こども御開門	奉神門前	73人	51人	—	124人
漆喰絵付け体験	瑞泉門下	51人	39人	45人	135人
新春杜のステージ	首里杜館芝生広場	752人	1,018人	1,798人	3,568人
首里旗頭	首里杜館芝生広場	244人	155人	600人	999人
朝賀の儀式パネル展	首里杜館芝生広場	—	—	—	—
朝拝御規式映像上映	世誇殿内	—	—	—	—

- ・検温やアルコール消毒、マスク着用の呼びかけ、ソーシャルディスタンスの確保等、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施しながら、来園者に観覧いただけるよう、財団スタッフで連携して取り組んだ。
- ・イベント出演者へもマウスガードの着用やアルコール消毒等対策を徹底した。



国王・王妃出御



御座楽演奏



琉球芸能の宴



こども御開門



漆喰絵付け体験



新春杜のステージ

首里城公園 琉球の華みぐい

目的

沖縄を訪れたお客様色鮮やかな花々でおもてなしする「沖縄花のカーニバル2022」の開催に併せて、海洋博公園の「美ら海花まつり」に続き、首里城公園においても園内の草花装飾を実施し、花をテーマにしたプログラムを連携イベントとして実施することで、公園利用促進及び来園者の満足度向上を図ることを目的とする。

開催期間および場所

《期間》 令和4年2月19日（土）～3月13日（日）

《場所》 歓会門内側～瑞泉門階段下、首里杜館、系図座・用物座、世誇殿

概要

「沖縄花のカーニバル 2022」に併せて花をテーマにした催しで首里城公園の入園促進及び来園者の満足度向上を図った。園内装飾についてはブーゲンビレアなどの草花を用いて華やかな装飾を施した。また、琉球のお菓子作り体験に併せて花をモチーフにした琉球菓子の解説を行った。また「首里城の植物たち」映像上映では、園内に咲く草花を紹介することで園内周遊や再来園の契機づくりを図った。



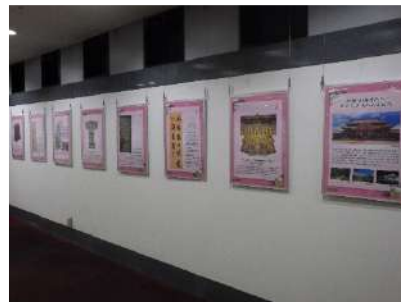
草花装飾



琉球お菓子作り体験



首里城の植物たち(映像上映)



花の工芸品パネル展

首里城公園事業年報 第3号 令和4年12月 作成

発行所 一般財団法人 沖縄美ら島財団

沖縄県那覇市首里金城町1丁目2番地

電話 098-886-2020 (代)

編集兼発行人 花城 良廣



※令和4年3月31日撮影